

才商魂士



北海道根室高等学校
商業科・事務情報科通信
令和7年5月30日
第2号
文責：横山敏明

令和7年3月14日、東根室駅が廃駅となりましたね。私が根高商業科在学中に友人の家に行く途中の通り道で見かけるぐらいで、私のイメージでは、廃駅時の様子というより右の画像のイメージが強いです。よく「根室高校や根室は歴史のある地域です」と見聞きしてきたかと思いますが、今回の東根室駅が廃駅になるにあたって根室の物流の歴史について少しご紹介します。



2014年頃



明治15年から約4年間三県一局時代「根室県」が存在していました。人口は少ないですが北海道東部の開拓の中心地として発展していきます。
(明治39年に根室実業学校
のちの根室高校が開校します)

ちなみに・・・
花咲小は明治9年に開校され道内で3番目にできた学校です。

昭和4年「根室拓殖鉄道株式会社」が歯舞（歯舞診療所の辺り）から根室（根室交通有磯営業所の^{きどう}辺り）を結ぶ軌道（線路）が開通し約20年間昆布などの海産物の出荷を主な目的として運行されました。だいたい現在の道々納沙布線上に列車が走っていて、いずれは歯舞から^{とりといし}鳥戸石（瑤瑠の^{ふせつ}辺り）への延伸計画があったのですが残念ながら敷設されず、また、国鉄（今のJR）との連絡もないまま廃線となってしまいました。



第二次世界大戦を経て、昭和40年に貨物駅の国鉄「根室港（ねむろみなと）駅」も廃駅となり現在の路線、滝川駅から富良野駅及び新得駅から帯広・釧路を経て根室駅までを「根室本線」と呼ぶようになりました。

このように根室は北海道の開拓から海産物の物流など様々な発信地として歴史のある地域なのです。



文化会館側から見た線路跡の公園（旧花咲小の下辺りを通してみなと湯の裏辺りまで線路がありました）